

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・初期支援に伴う重要なニーズや情報は申し送りの徹底に加え、職員間で声を掛け合い確認をこまめに行うことで情報共有及び、支援のレベルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新規の利用者については職員間で特にこまめな情報交換を行い、利用者が不安なくスムーズに利用ができるように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	7	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	6	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	8	2	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①フェースシートやそれに付随する資料に基づいて共有している。朝礼、終礼時に重要な点については確認を行っている。 ②介護支援専門員が利用者及び家族等からアセスメントを行い、必要としている支援を見極め、サービスを提供している。 ③利用初期の方については密に声を掛け、利用者間の会話をフォローするなど、支援を行っている。 ④介護支援専門員の自宅訪問時や介護職員の送迎時等に会話する機会を持ち、良好な関係構築に努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④職員により、送迎や訪問に行かないことがあり、家族・介護者と接する機会が無く、不安な気持ち等を十分に理解できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・初期支援においては本人、家族と良好な信頼関係が構築できるように密にコミュニケーションを取る。家族等と直接関わることがない職員においても連絡手帳等を通じて情報交換を行い、家族が抱える不安や悩みなどについて理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	8 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画

- ・「茶話会」について職員間で話し合う場を設け、内容の一部見直しを検討し、より意義ある会にする。
- ・個別支援計画・実施を継続し、利用者のQOL向上を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・毎月実施する「茶話会」にテーマを決めてそれに関連することで利用者とのコミュニケーションを図っている。又、その中で得られた利用者個々の「～したい」を個別支援として随時、計画、実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	5	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	8	5	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	7	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	2	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①個別に作成された介護計画における目標は職員間で共有できている。
- ②日々の関わりの中や「茶話会」で得られた利用者の希望や要望を汲み取っている。
- ③個別支援を重要視し、利用者満足向上を事業所目標の一環としている。
- ④利用者処遇については随時申し送り、検討を行い、改善に繋げている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①経験や意識が乏しく、介護計画及び、本人の目標が十分に把握できていない。
- ②利用者との「茶話会」等で十分に話ができていない、又は同じ利用者ばかりになる。「茶話会」の時間を有効に使うことができていない
- ③職員により個別支援に対する意識に差異があり、実施頻度が低い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・本人の希望を反映した介護計画の作成とそれに沿った支援が行えるように職員間で意識の向上を図る。
- ・「茶話会」の内容を再度検討する。又、言語によるコミュニケーションが取れない方への配慮を協議する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	12 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ひとり一人の個性をとらえ、その方の暮らし方や歴史について理解を深めることができるように、職員それぞれが課題を持ち利用者に関わりを持つ。「以前の暮らし方」把握の数を増やす ・介護職員が自らをご利用者様の立場に置き換えてみて、気持ち良い介護ができているかを自問する。又、事例検討を通した勉強会を行いレベルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・個人目標として課題を持ち、利用者に関わる職員が見られ、意識向上に繋がってきている。 ・事例検討の勉強会を実施。利用者目線の介護、気持ち良い介護について職員間で確認した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	1	9	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	6	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	5	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	4	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	7	1	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②利用者個々の状態や状況に応じた日常生活に必要な介護をそれぞれに提供している。	
④体調の変化についてはバイタルの数値を参考に顔色や表情等で把握し対応ができている。気持ちを表出できない利用者については特に観察を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①上記の通り、把握できている職員もいるが、あまり把握できていない職員が多い。情報収集力が不足している。	
③利用者に関わる中で「気づき」や「利用者の視点に立つ」が、職員により能力差がある。特に経験の浅い職員に不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ひとり一人に興味、関心を持ち、利用者の「今」だけではなく、「背景」や「歴史」を知ろうとする意識を持ち、接する。 ・利用者に気持ちの良い介護をするにはどうしたらよいかをテーマに勉強会を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画
・利用者が在宅時にどのような生活をされ、誰と関わりを持っているかを、資料から、又は日々の関わりの中で情報を収集して理解を深める。 ・利用者本人をサービス以外で支援していく上で必要な社会資源について学ぶ機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・フェースシートの読み込みや、コミュニケーションを取る中での情報収集により意識や理解の向上が図れた。 ・地域資源をテーマに勉強会を実施し、理解を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	9	4	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	10	2	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	10	2	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	3	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者本人、又は、家族と接する中で今までの生活スタイルや人間関係について聴取し得た情報については職員間で共有できている。 ②例として一人暮らしの利用者が近隣の住民と円滑な付き合いができるように理解や協力を得られるように支援を行っている。 ③家族と同居の利用者については家族より聞き取り把握できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①④経験の浅い職員を中心に理解や把握が十分ではない。 ③一人暮らしの利用者について本人からの情報のみで、十分に把握はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・新人の職員及び経験の浅い職員に利用者の生活背景や地域での暮らし方について意識を持ち理解するように指導を行う。 ・一人暮らしの利用者を知る近所の住民や民生委員等と連携を図り、情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画
なし。

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	10	1	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	4	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	5	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	6	0	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①地域住民の見守り支援や配食サービスの他、民生委員との連携を図り、利用者を支援している。
 ②要介護度のみの判断ではなく、十分にアセスメントを行い、必要性に応じてサービスを提供している。
 ③利用者との日々の関わりによる変化の気づきについては随時申し送りノート又は朝、昼、夕の口頭での申し送りで職員間で共有できている。
 ④急な追加の利用、または泊まりの依頼にも柔軟に対応を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 特になし。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 特になし。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画
・引き続き介護職員の会議参加を調整して検討する。参加できない際は照会を事前に行い、意見を反映させる。 ・地域の方からの情報や市の広報などを通じて利用者が参加できるイベントを計画して実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・現状、介護員の参加は実施できていない。事前に照会を行って意見の反映はできている。 ・市が発行している広報等で、利用者が参加できるものを選定して随時、企画・実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	4	1	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	3	1	7	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	8	1	2	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	6	4	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②管理者及び介護支援専門員が病院やその他のサービス機関と連携してカンファレンスやサービス担当者会議を行っている。 ③上記の通り、地域で行われるイベントに参加を行っている。 ④地域住民との食事会や交流会の他、ボランティアやサークル活動で事業所を訪れている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②介護員についてはシフト調整が困難であり、出席ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者のモニタリング担当職員に会議参加ができるよう検討し、困難な場合は照会による意見聴取を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

7. 運営

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	5 人	5 人	3 人	13 人

前回の改善計画	・地域運営推進会議等で地域の困りごとに協働で取り組める事があれば積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域運営推進会議等で情報交換を行っているが、現在、地域の困りごとについて協力することは発生していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	2	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	1	1	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	4	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①運営に関わる議題を事前に募り、職員ミーティングで協議を行い、改善を図っている。 ②利用者、家族からの苦情については真摯に受け止め、職員間で共有を図り改善に努めている。意見や要望はその都度聞き取った内容を職員間で協議して迅速に対応している。 ④地域の美化作業、夏祭り等に参加して協働を図っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①意見を言う職員とそうでない職員があり、意識の持ち方が異なっている。 ④地域の困りごとについては協働した実績はない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・職員ミーティングで職員それぞれが意見を表出できるように、指導や声掛けを行う。 ・地域の困りごとに協働で取り組めることがあれば積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画

- ・地域の連絡会へ参加した際、内容について周知できるものはミーティング等を通じて報告する。
- ・非常勤職員で希望者がいれば外部研修や資格取得に関する研修に参加できるように業務調整を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・制度の変更に伴う運営方針の変更や業務に係る指導があればミーティングで報告して周知を図っている。
- ・研修や資格取得に関するサポート等、常勤、非常勤問わず参加及び取得を呼びかけている。非常勤職員の希望者は発生していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	8	1	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	2	2	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	2	7	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	9	1	0	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②職場内で 3 ヶ月に 1 度テーマを決めて勉強会を実施している。外部研修については職位に合ったものを管理者が選定して受講している。資格取得についても法人のバックアップあり、取得を奨励している。

③市で開催される居宅支援事業所連絡会及び集団指導などに管理者及び介護支援専門員が参加している。

④ヒヤリハット (あずま野・れぽーと) を作成し共有を図る事で利用者個々のリスクマネジメントを行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①②入職して間もない職員に関しては外部研修に参加はできていない。

③専門分野や運営に関わる連絡会のみ参加である為、一部の職員のみ参加となっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・職場内の勉強会の継続及び、職員個々のスキルアップの為、職位に合わせた外部研修への参加を計画的に実施する。
- ・ヒヤリハット (あずま野・れぽーと) が一部の職員だけでなく、全職員が記録できるように、特に経験の浅い職員に指導を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 13 日 (17 : 30 ~19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	6 人	7 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・人権、プライバシーに関する勉強会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会を実施して知識を広げると共に、職員の意識向上が図れている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	1	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	1	9	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10	3	0	0	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①体動があり、転倒、転落等の危険がある利用者については、見守りを強化することで対応している。 ②③職員の入れ替わり等ある為、年に 1 度は関連する勉強会や外部研修に参加している。 ⑤利用者個々の記録は個別にファイリングし、施錠できるキャビネットにて保管している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④現在、対象となる利用者がいない為。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
人権・プライバシーに関する勉強会を行い、職員の意識強化を図る。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長生会	代表者	柳 茂	法人・事業所の特徴	利用者、家族と職員間の連携を密に図り、利用者一人ひとりに事業所の多機能性を活かしたサービスを柔軟に提供し、急な利用希望や困りごとにも昼夜問わず可能な限り対応しています。又、併設のグループホームと共に地域に根ざしたサービス事業所を目指し、地域で行われる美化作業や会合等へ積極的に参加すると共に、地域の皆様を招待してのグラウンドゴルフ大会や交流会を実施している他、多目的ホールを地域の皆様の活動に使用して頂いています。
事業所名	ふれあいの家 あずま野	管理者	佐野 純一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	5人	人	人	人	人	2人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 100%に近づけるように、各項目、取り組みを行いたい。特に利用者の「～したい」の実現と地域との連携・協働を重点項目として実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年同様に、利用者の個別支援計画を重点的に取り組みを行った。 9項目の自己評価「できている」が今回は78%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個人の希望に応えるのは大変だが、楽しみや満足に繋がるのでは。 若い職員ばかりでは利用者と話が合わないのでは。同年代のボランティアの参加等を検討してみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価全体の目標としては「できている」割合80%以上を目標に取り組み。特に、2.6.8.の取り組みについては重点項目として職員の遂行力、理解力の向上を図ります。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議の委員をはじめ、地域の方に事業所のしつらえや環境を知って頂く機会を作り、周知を図る。 防犯対策についてマニュアルを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流会として地域の方達と食事会や利用者を交えたレクリエーションを実施。 事業所独自の防犯マニュアルを作成して配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にどういった行事をされるかが分かれば、参加もしやすいのでは。 公民館で行う「いきいきサロン」の内容を利用者に事前に伝えて呼びかけを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方へ事業所を知って頂く機会を増やす為に、行事等の年間計画を配布し、参加を呼び掛けていく。 今後も東野区いきいきサロンへ利用者が参加できるように調整を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 東野区のサロンに出席して事業所の特徴などを説明する講演を行い、多くの地域の方へ事業所をPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> H29.7.15にグループホームと協働で、いきいきサロンの場を借りて事業所の説明会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 最近、感じるのは介護する家族への支援が不足しているのではないかと感じる。市が行っている介護家族の集いやインフォーマルな介護教室など、啓発活動が必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が気軽に相談しやすいイメージを持って頂けるように、今後も地域住民と交流する機会を確保する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ご近所の心配な方について地域の方に情報を頂き、事業所として関わりが持てる事があれば積極的に協力します。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で近所の心配な方等への関わりは発生していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近くにいても気付かないことがある。もっと隣近所同志の繋がりが必要なのではと感じる。困りごとを隠さずにオープンにしてお互いに助け合う仕組みが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者以外で、近所で支援が必要な方がいる場合は、地域の方と連携して協力して支援を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 東野区の方が事業所に登録、利用する場合は、地域運営推進会議でお知らせして地域で支えていける体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の情報はインシタルで報告しているが、東野区の方の情報は名前でお知らせして、共有を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ほかの事業所でも運営推進会議を行っていると思いますが、どういった内容なのかを知りたいです。 内容を公表している自治体もあるので、そういった情報があればお知らせしたい（市の職員） 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を地域のさまざまなことについての情報共有の場と捉え、必要に応じてインシタルで事例検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 風水害を含む事業所の災害マニュアルを委員の方に配り、周知を図る。また、積極的に訓練に参加して頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策マニュアルは作成が遅れ、外部評価当日の配布となった。避難訓練は運営推進会議の後に開催し、委員の方達に参加して頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は利用者も含めて何回も行ったほうがよい。 あずま野は地域の資源の一つと捉え、非常時の避難場所として地域で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害マニュアルについては訓練を行いながら、適宜更新していき、その都度委員の方に配布を行う。地域の訓練があれば積極的に参加する。

